

第4回地域価値を共創する不動産業アワード

総評

明海大学 不動産学研究科長 中城 康彦

第4回不動産業アワードの応募・審査結果について

- **申込件数** … 28件
- **二次審査対象件数** … 14件
- **二次審査の観点**
 - ☑先進性…共創した価値の新規性／活動の内容・手法の創造性／活動の持続可能性・汎用性
 - ☑共創性…地域の参加者の多様性・役割分担／活動成果
 - ☑地域活性化…地域づくりへの寄与／地域における人材育成への寄与
- **表彰対象** … 7件（実績を重視し、長年の積み重ね、多くの実績、他地域への波及等を考慮）
 - ◇アワード大賞 …1件
 - ◇優秀賞 …6件
 - 住宅確保要配慮者等の居住支援…1件
 - 空き家活用…1件
 - 地域活性化…2件
 - 団地活性化…1件
 - デジタルの活用…1件

第4回不動産業アワード 受賞者の特徴について

1. 包括的な取り組み（共創手法の総合・統合化）

Key word: 空き家課題と起業支援を一体的に進める／一気通貫で支援する仕組み／不動産の取得から再生・運営までを一体的に担う

2. 役割分担・協働（適正な行政関与）

Key word: 行政の信頼性と民間事業者の専門性・機動力／行政・住民・民間の役割分担／多世代・多主体が関わる持続的な賑わい

3. だれでも参加できる仕組み（誰でも化）

Key word: 誰でもが地域の共創者／目的意識を持った購入者につなぐ／自然発生的に広がる／開業意欲の醸成／行政や地域とつながる機会／住む前に地域と関われる／空き家に前向きに関わる

4. 事業性の確保（持続可能性の経済的担保）

Key word: 投資や事業手法／民間主導の収益構造／交流と経済が循環する基盤

5. 複合・広域で考える（群化する取り組み）

Key word: 空き家を資源に変える町／エリアを一つの不動産／エリアマネジメント

第4回不動産業アワード 応募者の活動拠点について

- ☑**大都市圏**：東京都7件／名古屋市2件／京都市／横浜市
- ☑**広域活動**：全国2件／県域全体など3件／都県をまたぐ2件
- ☑**西日本**：新潟県新潟市／富山県南砺市／静岡県藤枝市／
岐阜県高山市／大阪府貝塚市／島根県松江市
- ☑**東日本**：北海道2件／群馬県桐生市

第4回不動産業アワード まとめ

☑これまで以上に横展開が進展

◇多くの実績、各地での取り組み

☑不動産業ビジョン（2030（2019（平成31）年4月） 官民共通の目標

◇「ストック型社会」の実現／多様なライフスタイル・地方創生の実現／エリア価値の向上／すべての人が安心して暮らせる住まいの確保

◇受賞した取り組み ☞ 都市再生推進法人／エリアマネジメント／二地域居住／住まいの安定／防災

☑地域価値を共創する不動産業アワード・地域価値共創プラットフォームのねらいと役割

◇政府が推進する政策と親和性の高い取り組みが多く見受けられる

◇先進的な民間事業者の取り組みと行政の政策が相互補完的に進展

◇地域価値を共創する不動産業アワードが政策の実装・発展を支える先進事例群を発掘する場

◇本活動の継続に期待